

## 編集後記

石川県立看護大学 平成 26 年度年報は、本学の教育・研究・地域貢献の実績を学外により一層わかりやすく提示するために、従来の年報の内容構成等を少し変えて作成しました。例えば、看護学部看護学科と大学院・看護学研究科を別々に項目立てして記載したり、平成 23 年度から導入されている公立大学法人としての中期計画・年度計画について、平成 26 年度計画と実績の重点項目を中心に紹介したり、学内の委員会活動をこの中期計画に沿う形で「実績、自己評価、次年度以降の方向性・計画」という流れで記載するようにしました。また、外部から資金を受けて大学として取り組んでいる事業や、教員が外部から受けている研究助成金、国際交流活動等の分類を吟味し、諸活動を再区分しました。皆様が年報を見て「本学の活動や本学の特徴がよくわかる」と思っていただけるようなものになるよう今後も工夫していきたいと考えています。

平成 26 年度の特徴としては、入学時からの社会人基礎力の養成や異学年交流の推進をめざして設けられた、ボランティア活動等を単位化した科目「ヒューマンヘルスケア」を開設したこと、大学院において専門看護師の実践力向上をめざした新たな専門看護師教育課程(26 単位から 38 単位に増加、臨床現場での実習等を充実)を開始したこと、生涯学習支援の充実として「感染管理認定看護師教育課程」を開設し、現場のリーダーとなる看護職者を育成したこと、国際交流の推進として韓国全北大学看護学部と新たに覚書を締結したこと等が挙げられます。他にも、教職員の学内外での役割や活動を報告しています。

本誌の編集にあたり各委員会、附属地域ケア総合センター、附属図書館、附属看護キャリア支援センターの皆様から多大なご協力を頂きましたことにお礼を申し上げます。また、実質的な作業を担った田村幸恵委員、山崎正志主任主事、田淵幸幾主事の労をねぎらいたと思います。皆様のご協力に感謝申し上げます。

2015 年 9 月吉日 自己点検・評価委員会 西村真実子